



2023年度から、自治体間でのシステムなどのばらつきを可視化し、標準化を進めた上で、実体の伴ったデジタル化を進めるために、調査・実証を行っている。  
その結果を踏まえ、2025年度に校務DXに関わるガイドラインを策定する。

### 3. オンライン教育の活用促進

中学校では、遠隔教育特例校制度の緩和を行う。

現在、オンライン授業を行う際、受信側の学校の教員は、文部科学大臣が定める基準を満たし、「遠隔教育特例校」としての指定を受けた場合のみ、その授業の教科の免許状保有者ではなくても実施可能である。

しかし、文部科学大臣の指定を受けるための手続きの負担があるなどの課題が浮上していた。これを踏まえ、デジタル行財政改革会議（第3回）では、令和6年度から、指定を受けるための手続きを不要とし、都道府県教育委員会の判断の下、実施できるようにする。

高校では、原籍校で開講されない科目の履修など、多様な学習ニーズがある。そのため、自治体の遠隔授業配信センターが整備されるよう支援する。

#### ▼デジタル行財政改革 中間とりまとめ

[https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital\\_gyozaiikaikaku/pdf/chukan\\_honbun.pdf](https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_gyozaiikaikaku/pdf/chukan_honbun.pdf)

#### ▼デジタル行財政改革会議資料（文部科学省提出資料）

[https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital\\_gyozaiikaikaku/kaigi3/kaigi3\\_siryou2.pdf](https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_gyozaiikaikaku/kaigi3/kaigi3_siryou2.pdf)

#### ◇◆ トピックス（2） .....

文部科学省「令和6年度予算（案）のポイント」を公表

.....◆◇

文部科学省は12月22日、「令和6年度予算（案）のポイント」を公表しました。

文部科学省所管の予算案の総額は、5兆3,384億円です。

GIGAスクール構想の着実な推進と学校DXの加速化には、約40億円が計上されており、以下の内容が盛り込まれていました。

#### 1. GIGAスクール運営支援センターの機能強化（5億円）

自治体格差を解消するため、令和5年度～6年度を集中推進期間とし、ヘルプデスクの運営やサポート対応などを行う。  
補助事業は、令和6年度までを予定している。

#### 2. GIGAスクールにおける学びの充実（3億円）

端末の活用状況を把握・分析するとともに、日常授業の改善を中心とする効果的な実践例を



- ☆★ (1) 紛失・置き忘れ：6件 (2) 誤公開：3件 (3) 誤送信：2件  
(4) 誤配布：1件 (5) 不正アクセス：1件

☆★ >> <https://school-security.jp/leak/>

2023年11月29日～2024年1月9日に合計13件の事故が発生しました。  
情報セキュリティ事故の内訳と概要（都道府県名、公表日、組織区分、  
漏えい経路・媒体、個人情報数）は以下の通りです。

#### (1) 紛失・置き忘れ

埼玉県 2023年12月15日 県立高等学校 書類 1件  
広島県 2023年12月15日 県立不明 書類 62件  
埼玉県 2023年12月19日 県立高等学校 書類 延べ102件  
愛知県 2023年12月21日 公立児童館・学童クラブ 書類 66件  
福岡県 2023年12月21日 市立中学校 書類 238件  
大阪府 2024年1月9日 市立中学校 書類 1件

#### (2) 誤公開

愛知県 2023年11月29日 県立特別支援学校 インターネットサービス・アプリ 19件  
富山県 2023年12月12日 県立高等学校 インターネットサービス・アプリ 146件  
高知県 2023年12月25日 公立大学 インターネットサービス・アプリ 1件

#### (3) 誤送信

愛知県 2023年12月20日 県立保育園・保育所 保育園 書類 258件  
宮城県 2023年12月27日 市立中学校 電子メール 116件

#### (4) 誤配布

新潟県 2023年12月25日 県立高等学校 書類 1件

#### (5) 不正アクセス

奈良県 2023年12月21日 国立幼稚園 インターネットサービス・アプリ 延べ139件

※以下の参考サイトをもとに、学校、公的教育機関、関連組織で発生した情報セキュリティ事故の内訳と概要を掲載しています。事故の詳細は、上記に記載されている項目を検索するなどして、ご確認をお願いいたします。

参考サイト：

埼玉県ホームページ／中国新聞デジタル／Security NEXT／NHK NEWS WEB／

大阪市ホームページ／愛知県ホームページ／仙台市ホームページ／新潟市公式ホームページ など



□ 【3】 学校 ICT・セキュリティコラム



◆ 自律的に学べる子供を育てよう ◆

ISEN 委員長 山西 潤一

新しい年を迎え、それぞれに気持ちを新たに今年目標を  
考えておられることかと思えます。

いつもなら、「新年おめでとうございます」の言葉で始まる新年ですが、  
今年は躊躇せざるを得ませんでした。

令和 6 年 1 月 1 日夕刻に、石川県能登半島でマグニチュード 7.6 という  
巨大地震が発生しました。

近隣の富山に住む私自身も、今まで経験したことのない大きな揺れで恐怖を覚えました。  
幸い、我が家では、庭の灯籠の倒壊と整理の悪い我が書斎の本や書類が  
落下散乱した程度の被害で、家族は皆元気、今まで通りの日常生活を送ることができています。  
しかしながら、震源に近い能登半島はもとより石川県や富山県などの一部では、  
犠牲になられた方や家屋の倒壊など多くの方が被災されました。  
被災者の方々に衷心よりお見舞い申し上げるとともに、1 日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、ISEN では、ますます重要になってきたネットワーク活用に関わる諸問題を中心に、  
先生方の ICT 利活用を支援する活動を展開してきています。

GIGA スクール構想も NEXT ステージに入り、

端末やクラウドの日常活用が進んできていますが、まだまだ課題も少なくありません。

令和 5 年度の全国学力・学習状況調査結果によれば、

ほぼ毎日 ICT 機器を活用している学校の割合が小・中学校とも 6 割を超えたといえます。

Society5.0 時代に生きる子供たちにとって、PC 端末は鉛筆やノートと並ぶ学習の  
マストアイテムと言われた環境と活用がようやく現実となってきました。

2005 年に文部科学省「地域・学校の特色等を活かした

ICT 環境活用先進事例に関する調査研究」で座長を務めさせていただき、

2007 年に報告書を公開しました。

一人 1 台端末を持つ授業と、今と全く同じ ICT 学習環境を描いたのですが、  
こんな毎日 ICT を使う教育はおかしいと、

多くの先生から批判をもらったことが懐かしく思い出されます。

教育の内容も方法も時代とともに変化すべきでしょう。

今まさに教育のパラダイムシフトが起こっているのです。

しかし、先の結果でも、週 1 回から月 1 回未満しか活用していないとの回答が  
まだ 1 割近くあります。この環境で学ぶ児童・生徒の情報活用能力が心配です。

昨年末、PISA2022の結果が公表されました。

数学的リテラシー、読解力、科学的リテラシーの3分野とも世界トップレベルとの結果です。その要因の一つに、生徒の情報活用能力の向上で、CBTへの適応力が増したとのこと、ICT学習環境整備の成果といえます。

しかしながら、次代に求められる「自律的な学び」について課題も見られました。

例えば、「学校が再び休校になった場合に、自律学習を行う自信がありますか」との設問では、OECDの平均を大きく下回り最下位に近い結果でした。

別の国際比較、国際教育到達度評価学会(IEA)のTIMSS 2019によれば、

算数・数学や理科の勉強が楽しいと答える児童・生徒の割合は、

小学生ではOECDの平均値よりも高いのに、中学生になると平均値をかなり下回る結果です。

また、その勉強が日常生活に役立つという思いや、将来、

それを生かした職業に就きたいという回答が、同じく国際平均よりかなり低い結果です。

点数で測られる教科の知識理解のみならず、

これからは、学ぶ楽しさ、何のために学ぶのかという学びの意味が実感できる教育、自律的な学びを育てる教育がより一層求められます。

私事ですが、富山で未来キッズカンファレンスを主催しています。

学校や地域のプログラミング教室で学んだ成果を、

「あったらいいなこんなもの」というテーマで製作した作品の発表会です。

どの作品も人々の暮らしや社会をより良くするために

子供たちが考えた素晴らしい作品ばかりです。

指導された先生に聞けば、興味関心を持ち目的意識があれば、

子供たちのプログラミングスキルがどんどん向上するとのこと。

先生から学ぶよりも、YouTubeなどネット上にある有意なコンテンツを見て

学ぶことが多いそうです。EdTechが進みネット上には役立つコンテンツが溢れています。

自律的に学ぶ術を教えれば子供たちはどんどん学ぶのです。

もちろん、先生が指導すべきことは指導すべきですが、

時に伴奏者として子供と一緒に学ぶことも必要ではないでしょうか。そんな時代です。

アクティブ・ラーニングが進むオーストラリアで、生徒が

自らのアイデアを形にするMaker Spaceを見聞する機会がありました。

プログラミング環境はもとより、工作のためのさまざまな道具、

指導のための技師が配置された中で、生徒は個々人の興味で社会に役立つ作品作りに、

皆熱心に取り組んでいました。もちろん、分からない時には

ネット上のコンテンツを活用するのはいうまでもありません。

一人1台端末になったのだから、コンピューター室は不要との学校や

教育委員会のニュースがありましたが、何をか言わんやです。

自律的な学びを育てるためにも、映像開発や高度なシステム開発を可能とするコンピューター、

ものづくりのための工作機械などが整備された、

クリエイティブな活動スペースを作りたいものです。

「偉大な教師は生徒の心に火をつける」と言われます。  
ISEN では先にも述べたように、志ある先生とともに、  
次代が求める教育に向け、役立つ情報を収集し発信する活動に  
より一層取り組んでいきたいと思ひます。  
本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

▽ 学校 ICT に精通した先生方の書き下ろしコラム

>> <https://school-security.jp/column/>

……◆◆ **【最新版】「個人情報漏えい事故の発生状況調査報告書」**を公開 ◆◆……

ISEN では、11月9日に「令和4年度 学校・教育機関における個人情報漏えい  
事故の発生状況」調査報告書（第2版）を Web 公開しました。

>> [https://school-security.jp/leak\\_all/](https://school-security.jp/leak_all/)

---

<事務局>

教育ネットワーク情報セキュリティ推進委員会（ISEN）

〒105-0013 東京都港区浜松町 1-30-5 浜松町スクエア 2階（株式会社 JMC 内）

<https://school-security.jp/>

---

▽ 「教育の情報化や学校情報セキュリティ対策」にご興味をお持ちの方が  
いらっしゃいましたら、本メールマガジンをご紹介ください。

メルマガ登録フォーム：<https://fs220.xbit.jp/y592/form2>

▽ 個人情報の取り扱いは下記リンクをご参照ください。

<https://school-security.jp/privacy>

▽ お問い合わせ・配信停止・メールアドレスの変更は、  
下記フォームよりご連絡ください。

<https://fs220.xbit.jp/y592/form3>